

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

「就学までの流れ～早めに・丁寧に・細かやかに～」

0歳	満5歳	満6歳	6月～7月	9月～10月	11月～12月	1月	2～3月	4月					
乳幼児健診（満1歳6か月・満3歳）	子育て相談・親子教室（保健・福祉）	5歳児健診・相談（教育委員会・福祉）	保護者面談（各園・学校）	学校見学・教育相談の実施	就学や教育に関する相談会（7・9月）	スクリーニング検査（三種・八峰・藤里）	就学時健康診断（市町教育委員会）	教育支援委員会（市町教育委員会）	就学先の決定	就学通知の送付（県・市町教育委員会）	入学説明会（各学校）	引継ぎ（各地区・園・学校）	入学（小・中学校 特別支援学校）

1 就学先決定までのスケジュール（新たに特別支援学級や特別支援学校を考えている場合）

- ①各園・学校で就学相談を行い、夏休み前までに就学先の見学と教育相談を実施する。
- ②保護者が9月下旬を目安に、就学先を決定できるように就学相談を重ねる。
- ③10月下旬までに、検査報告書と診断書等、関係する書類を教育委員会に提出する。

2 学校見学の流れ

- ①小学校で中学校を見学する場合は、学校間で日程調整後、教育委員会に見学日を伝える。
- ②年長児の小学校見学については、園から教育委員会に保護者の希望日を伝え、教育委員会が小学校と日程調整をする。能代地域生活支援センター（前びあわーく）を利用している場合は、教育委員会、センター、園の3者で連絡を取り合い、教育委員会が小学校と日程調整を行う。
- ③特別支援学校の見学は、直接、園や学校から連絡をする。教育委員会も同行してお子さんの実態や保護者の意向を確認したいので連絡を入れてほしい。

3 知能検査の実施

就学に係る検査は診断書作成の資料となるため、臨床心理士及び公認心理師がいる専門機関で実施する。8月以降は混み合うため、保護者に早めに動いてもらえるように伝える。

夫婦間の思いの不一致、同居する家族との考えの食い違い、子どもの不安や戸惑い、周囲の目や声に対する動揺から、スケジュール通りに進まないことがあります。対応が難しい場合は、県主催の相談会や各市町教育委員会の就学相談を利用してください。



とれたて直送便



「かっこいい1年生になろう！」

今年度も小学校生活にスムーズに移行できるよう、一部の園で年長児を対象とした「キッズクラブぐんぐん」を始めました。鉛筆を使った学習をはじめ、楽しいクイズに挑戦したり、友達と協力してゲームに参加したりする活動を用意しています。

子どもが自らの心に火をつけられるように、小さな成功体験を積み重ねて、不安な気持ちを大きな自信に変えたいと思います。